

○ 研究部計画

1. 人権・同和教育

(1) 基本方針

被差別部落（同和地区）における実態面の改善に比べて、心理的な差別の解消は依然不十分な状況にある。その背景として、昔ながらの非合理的な因習的差別意識が現在も一部に根強く残されている。被差別部落（同和地区）に対する差別とその他一切の差別をなくすため、部落問題を科学的に認識させ、すべての教育の場で基本的人権確立の精神を養い、差別に立ち向かう人間を育成することをめざす。

(2) 具体目標

- 生徒たちの生活の中で差別をなくし、たがいに認めあい、助け合い向上していく明るい仲間関係を育てる。
- 正しい人権意識を身に付け、差別の現実を正しく認識し、すすんでこれを取り除こうとする意欲をもった生徒を育てる。
- ものごとを主体的、科学的に判断できる能力をもった生徒を育てる。

(3) 指導方針

- 被差別部落（同和地区）の実態、親や生徒の思いや願いを正しくつかみ、部落問題に対する正しい認識を深め、全教職員が協力して部落問題にとりくむ。
- 子どもたちの生活環境を知り、教育諸条件の改善につとめる。
- 各学年ごとに生徒の発達段階に応じた系統性のあるカリキュラムを作成し、部落差別と現代社会のさまざまな差別の本質に正しく目を向けて差別に立ち向かい、解決への意欲を持てる生徒を育てる。
- 被差別部落の生徒（同和地区生徒）の学力向上をはかり、進路保障にとりくむ。
- 地域と学校の連携を密にし、生徒指導、学習指導、進路指導にあたる。
- 部落問題を正しく理解するため啓発活動をおこなう。

(4) 具体的なとりくみ

- 進路・学力保障
 - すべての教科指導において、わかる授業の実践につとめる。
 - 校内での学力補充の充実をはかる。
 - 進路指導の充実をはかる。
 - アフターケアにとりくむ。
 - 学力向上をはかるため、子ども会、学力補充に協力する。
- 生活指導の充実
 - 子どもたちの生活環境を知り、差別をなくすために教育諸条件の改善につとめ、小学校との連携を深める。
 - 家庭訪問、個人懇談会などで家庭環境をつかむ。
 - 経済的に問題がでてきた生徒については、担任、援護係、学推、管理職などで話しあい、対処する。
 - 経済的に問題をかかえる生徒への奨学金制度の利用をすすめる。
 - 学習環境を改善するために、家庭や地域の人々と話しあい行政に働きかける。
- 人権教育・同和教育に関する職員研修

- 校内同和教育学習会を開催し、研修を深める。
- 人権教育・同和教育の研修会へ積極的に参加する。
- 民族問題の研修を深める。
- 差別の実態、差別事象から学ぶ。
- 部落問題、人権・同和教育に関する基礎学習（個人研修）を深める。

○地域との連携、啓発活動

- 家庭訪問を重視し、子ども会との連携を深め、文化会館・識字学級・解放運動団体等との交流をはかる。
- 講演会などを開催し、啓発文書を配布する。
- 朝鮮初中級学校との交流をはかる。

(5) 学年別指導計画

学年	目 標	指 導 内 容
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民主的な学級集団のあり方を考える中で、人権の尊さについて理解させる。 ○ 差別に気付く力を育てる。 ○ 差別とは何か、差別の本質を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近にある差別について（仲間はずし、人をみさげることなど） ○ 人権の尊重について ○ 障がい者に対する差別について ○ 民族差別について ○ 男女共生について ○ 「日の丸」・「君が代」について
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民主的な学級集団のあり方を考える中で、人権の尊さについて理解させる。 ○ 歴史を学習する中で、部落問題の本質を理解させる。 ○ 現代の部落問題について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近にある差別について（仲間はずし、人をみさげることなど） ○ 人権の尊重について ○ 民族差別について ○ 「身分制度の起こり」と「解放への歩み」について（社会科指導） ○ 部落問題について ○ 平和と民主主義について（社会科指導） ○ 労働の尊さについて（職業差別） ○ 男女共生について ○ 「日の丸」・「君が代」について
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民主的な学級集団のあり方を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近にある差別について

3 年	<p>中で、人権の尊さについて理解させる。</p> <p>○現代の部落問題を学習する中で、部落差別をはじめあらゆる差別の不合理さをつかませる。</p> <p>○部落問題解決の方法を考えさせ自分の問題としてとらえ、部落差別をはじめあらゆる差別を許さず、差別をとりのぞく姿勢をつくっていく。</p> <p>○将来出会うかもしれない様々な差別に立ち向かえる知識・態度を育成する。</p>	<p>(仲間はずし、人をみさげることなど)</p> <p>○人権の尊重について</p> <p>○現代の部落問題について</p> <p>○日本国憲法について (社会科指導)</p> <p>○「同和対策審議会答申」・「同和対策事業特別措置法と地域改善対策特別措置法」と「地域改善財特法」について (社会科指導)</p> <p>○現代社会の様々な差別について (社会科指導)</p> <p>○現代社会の不合理や矛盾と民主主義社会について</p> <p>○自己の進路と正しい職業観について</p> <p>○労働の価値、職業生活への展望について</p> <p>○男女共生について</p> <p>○ハンセン病について</p> <p>○「日の丸」・「君が代」について</p>
--------	--	--

(6) 年間カリキュラム

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
1 年	<p>○身の回りの差別 (自分たちの身の回りの差別に目を向けさせ、人権を大切にすることを養う。)</p> <p>○特別支援学級への理解 (なかよし学級とはどんな学級か、その意義、目的や交流の大切さを知る。) (なかよし学級担当者から提案)</p>	<p>○障がい者問題 (自分たちの身の回りの様々な障がい者問題について考える。)</p>	<p>○民族問題Ⅰ (身近なところに民族差別が存在することを知り、なぜ民族差別が生まれてきたかを日本と朝鮮の関係を明らかにしながら理解する。)</p> <p>○「日の丸」・「君が代」の正しい理解 (国旗(「日の丸」)・国歌(「君が代」)について学習し、正しく理解する。)</p>
2	<p>○民族問題Ⅱ (今日の日本社会に存在する民族差別の実態を知</p>	<p>○社会科「身分制度」の授業に係る事前事後指導</p>	<p>○部落問題学習Ⅱ {水平社の起こり} (部落差別をなくしようとす</p>

年	<p>り、進んでなくしていこうとする意欲と態度を養う。)</p> <p>○特別支援学級への理解 (なかよし学級とはどんな学級か、その意義、目的や交流の大切さを知る。)</p>	<p>○部落問題学習Ⅰ 【部落の起こり・汚染一揆】 (部落がどのようにしてできたのか。また、差別にどのように立ち向かっていったのかを理解する。)</p>	<p>る動きが差別される側から起こり、そのことが大きな差別解消への第一歩であったことを理解する。)</p> <p>○「日の丸」・「君が代」の正しい理解 (国旗(「日の丸」)・国歌(「君が代」)について学習し、正しく理解する。)</p>
3年	<p>○部落問題学習Ⅲ 【現在の課題について】 (生活環境は改善されつつあるが、心理的な差別が依然課題であることを理解し、進んでなくしていこうとする意欲と態度を育てる。)</p> <p>○特別支援学級への理解 (なかよし学級とはどんな学級か、その意義、目的や交流の大切さを知る。)</p>	<p>○部落問題学習Ⅳ 【現在の課題について】 (生活環境は改善されつつあるが、心理的な差別が依然課題であることを理解し、進んでなくしていこうとする意欲と態度を育てる。)</p>	<p>○3年間のまとめ 【将来に向けて】 (3年間のまとめとして日本社会に存在する様々な人権侵害の実態について知り進んでなくしていこうとする意欲と態度を養う。)</p> <p>○ハンセン病についての理解 (社会科指導：必要に応じて全体指導を行う。ハンセン病について理解し、ハンセン病に対する差別と偏見を進んでなくしていこうとする意欲と態度を育てる。)</p> <p>○「日の丸」・「君が代」の正しい理解 (国旗(「日の丸」)・国歌(「君が代」)について学習し、正しく理解する。)</p>